

2018年3月期 第1四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 商品群別売上高
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) トピックス
- 7) 減価償却費と研究開発費
- 8) 上期・通期業績見通し
[参考]商品群別売上高見通し

日本光電工業株式会社

銘柄コード:6849

2017年8月2日

1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2017/3 第1四半期	2018/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	31,402	33,353	6.2
国内売上高	23,878	24,887	4.2
海外売上高	7,524	8,465	12.5
営業利益	△ 416	△ 219	—
経常利益	△ 1,472	158	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 1,086	16	—

● 為替影響除く: +14%

	2017/3 Q1	2018/3 Q1
粗利率:	48.7%	→ 48.5%
販管費率:	50.0%	→ 49.2%

● 為替差損益: 差損12.9億円 → 差益1.0億円

平均レート	(2016/6)	(2017/6)
1ドル	112.8円	111.9円
1ユーロ	125.8円	121.9円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 6.2%増

- ・国内：支社支店制に移行。市場別の取り組みを強化した結果、全ての商品群で伸長。
- ・海外：現地販売・サービス体制の強化や生体情報モニタのラインアップ拡充が奏功し、米州、アジア州が伸長。

営業損失：219百万円（前年同期は416百万円の営業損失）

- ・販管費：研究開発投資等により増加。

経常利益：158百万円（前年同期は1,472百万円の経常損失）

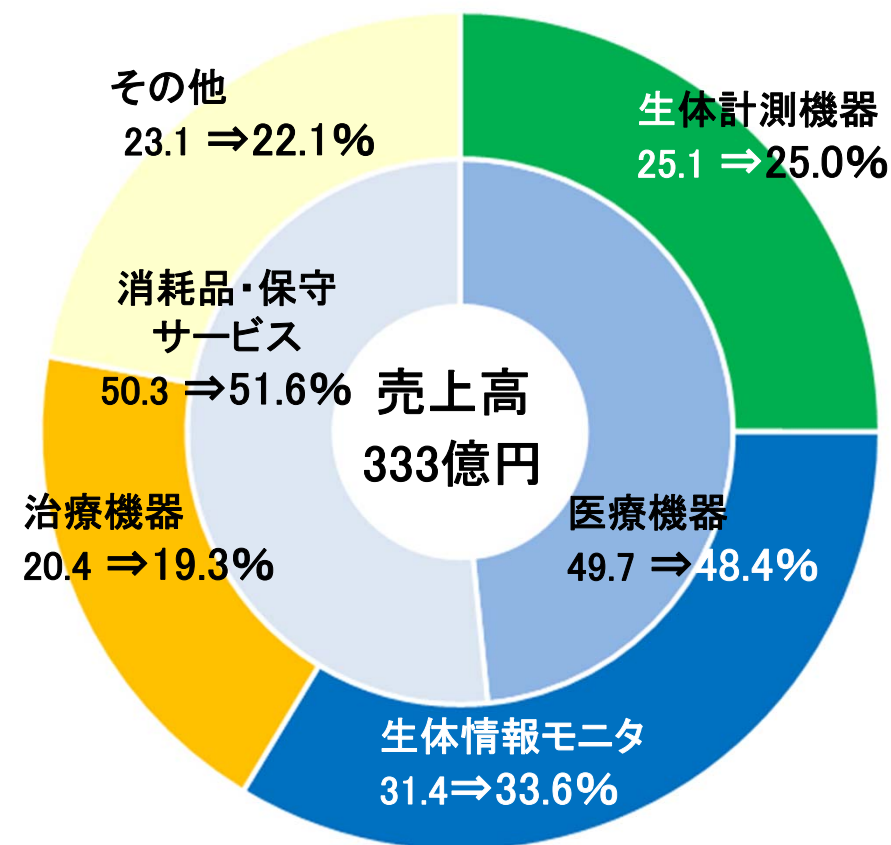
- ・為替差損益が差益に転じる。

3) 商品群別売上高

(単位:百万円)

	2017/3 第1四半期	2018/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	7,896	8,342	5.7
生体情報モニタ	9,862	11,217	13.7
治療機器	6,409	6,422	0.2
その他	7,235	7,370	1.9
売上高合計	31,402	33,353	6.2
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	15,791	17,215	9.0

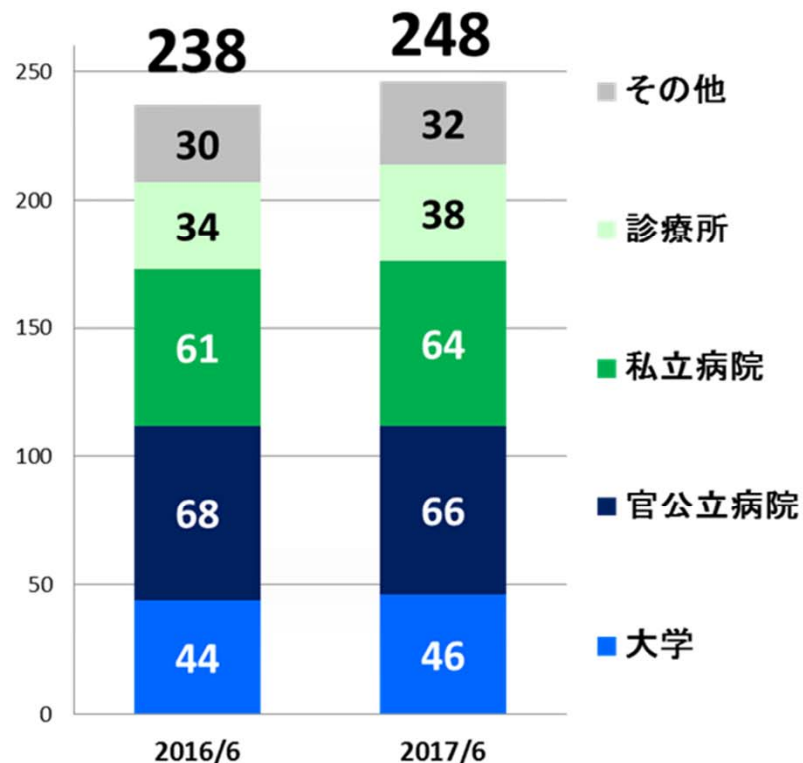
商品群別売上構成比 (2016/6 ⇒ 2017/6)



4) 国内売上高

【市場別売上高】

(億円)



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2017/3 第1四半期	2018/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	6,271	6,818	8.7
生体情報モニタ	6,693	6,943	3.7
治療機器	4,646	4,726	1.7
その他	6,266	6,398	2.1
売上高合計	23,878	24,887	4.2

【市場別】 診療所市場が好調に推移し、大学、私立病院市場も堅調に推移。官公立病院市場は前年同期を下回る。

【商品群別】 生体計測機器： 脳神経系群は前年同期を下回るも、診断情報システム、心臓カテーテル検査装置群が好調に推移。心電計群も前年同期を上回る。

生体情報モニタ： 臨床情報システム、センサ等の消耗品が好調に推移。

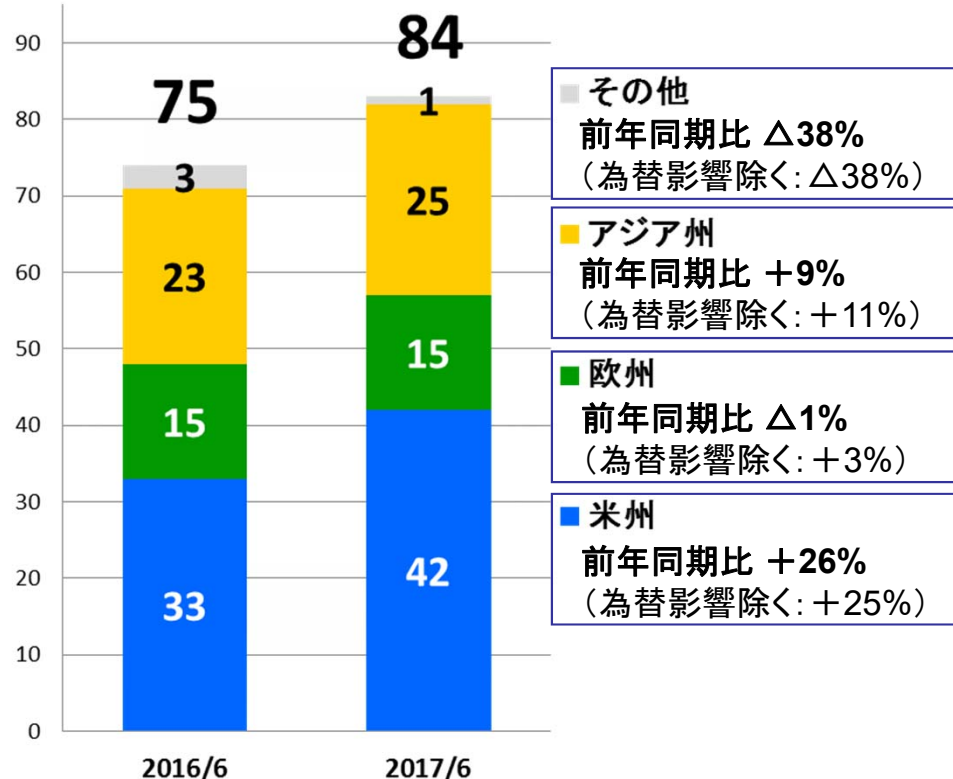
治療機器： 除細動器、人工呼吸器が好調に推移。AEDも前年同期を上回る。

その他： 検体検査装置が好調に推移。

5) 海外売上高

【地域別売上高】

(億円)



【海外売上高比率】

2017/3 第1四半期	2018/3 第1四半期
24.0%	25.4%

【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2017/3 第1四半期	2018/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	1,624	1,524	△ 6.2
生体情報モニタ	3,168	4,273	34.9
治療機器	1,763	1,695	△ 3.8
その他	968	972	0.4
売上高合計	7,524	8,465	12.5

為替影響除く: +14%

【地域別】

米州: 米国では前期からの期ずれにより生体情報モニタが大幅に伸長。
中南米も、ブラジルを中心に好調に推移。

欧州: 販売網の強化によりドイツは好調に推移するも、イタリアが低調。

アジア州: 韓国が好調に推移。インドは物品サービス税の7月導入に伴う駆け込み需要もあり大幅に伸長。

【商品群別】

生体計測機器: 脳神経系群は欧州、アジア州で好調に推移するも、心電計群が米州、アジア州で低調。

生体情報モニタ: 米州、欧州、アジア州で好調に推移。

治療機器: 除細動器はアジア州で好調に推移するも、AEDが全ての地域で低調。

その他: 血球計数器はアジア州で低調に推移するも、現地仕入品が前年同期を上回る。

6)トピックス

第1四半期の 主な新商品

CO₂関連品 内視鏡時の医療安全をサポート

cap-ONEバイトブロック

- ・上部内視鏡時に開口状態を保持したまま、酸素投与できるマウスピース
- ・CO₂センサと組み合わせることで、鎮静下内視鏡時のCO₂測定が可能
- ・鎮静薬の副作用である呼吸抑制の予防に期待



cap-ONE
ORAL NASAL EXPIRATION

ビデオ硬性挿管用 喉頭鏡事業を譲受

救急救命市場・麻酔科市場 の製品ラインアップを強化

- ・HOYAサービスと事業譲渡契約締結 (2017年7月)
- ・2017年9月事業譲渡(予定)
- ・生体情報モニタ、除細動器との相乗効果を期待

エアウェイスコープ AWS-S200

モニタ画面を見ながら、
スムーズな気管挿管が可能



7) 減価償却費と研究開発費

(単位: 百万円)

	2017/3 第1四半期	2018/3 第1四半期	増減額	2017/3 実績	2018/3 計画
減価償却費	733	770	36	3,422	3,900
研究開発費	1,242	1,633	391	6,466	7,300
			設備投資額	7,710	5,700

【2018/3期設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、西落合事業所改修工事10億円

8) 上期・通期業績見通し

(単位:億円)

	2017/3 実績		2018/3 予想			
	上期	通期	上期	増減率 (%)	通期	増減率 (%)
売上高	744	1,662	780	4.7	1,750	5.2
国内売上高	558	1,247	—	—	1,280	2.6
海外売上高	185	415	—	—	470	13.2
営業利益	38	135	39	1.7	150	10.4
経常利益	26	140	39	45.0	150	6.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	16	91	25	48.5	102	11.5

海外売上高比率 25.0% 25.0%

26.9%

平均レート

1ドル	107.6円	109.2円
1ユーロ	119.9円	119.3円

110円
115円

[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2017/3 実績	2018/3 予想	構成比(%)	増減率 (%)
生体計測機器	37,658	39,800	22.7	5.7
生体情報モニタ	56,117	59,100	33.8	5.3
治療機器	29,728	31,200	17.8	5.0
その他	42,781	44,900	25.7	5.0
売上高合計	166,285	175,000	100.0	5.2
(ご参考)				
消耗品・保守サービス	71,180	75,100	42.9	5.5

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略部

【連絡先】 TEL03-5996-8003